
第15報 平成23年6月3日

東日本大震災 災害復旧資材供給情報

財団法人 経済調査会

【鉄鋼製品 東北地区】

被災した岩沼臨空・矢野目工業団地内（仙台地区）にある流通・加工業者は業務を再開するところが増えてきており、震災前の状況に戻りつつある。ただ、震災の影響から被災地を中心に工事物件が激減していることから稼働率は低水準に推移している。

宮城県の東北スチール(株)本社工場は、来年4月のJFE系電炉メーカーとの再編を念頭に設備の復旧を断念。統合までは、関係会社における代替生産で製品を供給する。

【石油製品】

鹿島製油所（JX日鉱日石エネルギー）は、6月4日から通常の6割程度で生産を再開する見通し。これにより東日本大震災の影響で稼働を停止している製油所は、仙台（JX日鉱日石エネルギー）、千葉（コスモ石油）の二カ所だけとなった。

【コンクリート型枠用合板】

6月以降も輸入品の入荷増が見込まれている。そのため供給体制は改善の方向にある。産地価格の上昇は一服したものの、市況は依然として強含みの状況にある。

【問い合わせ先】

財団法人 経済調査会

土木第一部・土木第二部

TEL 03-3543-1471

【鉄鋼製品供給状況】

2011/6/2 確認

※今回より、メーカー状況については工場の再稼働や再稼働に向けた発表等、状況に変化があった会社のみお知らせいたします。

■東北、関東地区 流通業者

◇東北（仙台）地区

被災した岩沼臨空・矢野目工業団地内に所在する流通・加工業者は業務を再開するところが増えており、震災前の状況に徐々に戻りつつある。ただし、震災の影響から被災地を中心に工事物件が激減しているため、稼働率は低水準で推移している。

◇関東地区

液状化被害を受けた浦安鉄鋼団地内に所在する流通・加工業者は、そのほとんどで業務を再開している。ただし、現在も余震が続いているため、加工ラインの再開には慎重な業者もあり、完全復旧とは言えない状態。また、団地周辺は液状化被害の爪あとが強く残り、業者の中には敷地内の液状化被害を受けて流通機能を他に移す動きも見られる。

■高炉メーカー

住友金属工業(株)

◇茨城県

- ・ 鹿島製鉄所：工場稼働中、各種製品は製造、出荷可能。設備に損壊は残るものの、現在は震災前の操業水準に回復し、通常の操業を行っている。

■電炉メーカー

JFE条鋼(株)

◇宮城県

- ・ 仙台製造所：工場停止中、製品の出荷不可。現在、工場の再開を目指し、復旧作業を進めている。操業の再開は7月中旬以降になるもよう。

東北スチール(株)

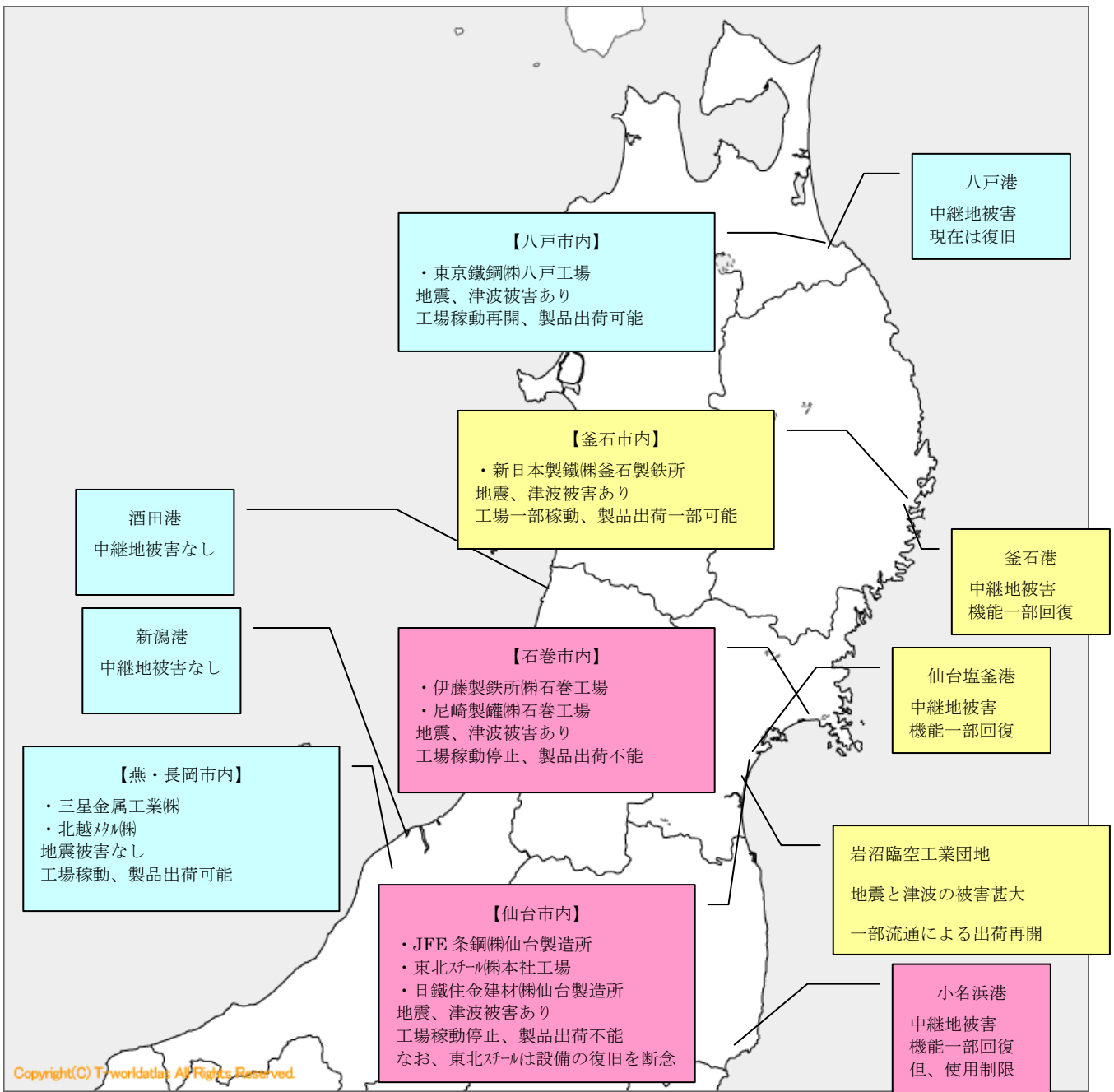
◇宮城県

- ・ 本社工場（仙台）：工場停止中、製品の出荷不可。来年4月のJFE系電炉メーカーの再編を念頭に設備の復旧を断念。統合までは、関係会社における代替生産で製品を供給。

なお、石巻、仙台に所在するこの他のメーカーは現在も復旧に向けて作業中だが、具体的な再開時期は現在までのところ未定となっている。

以上

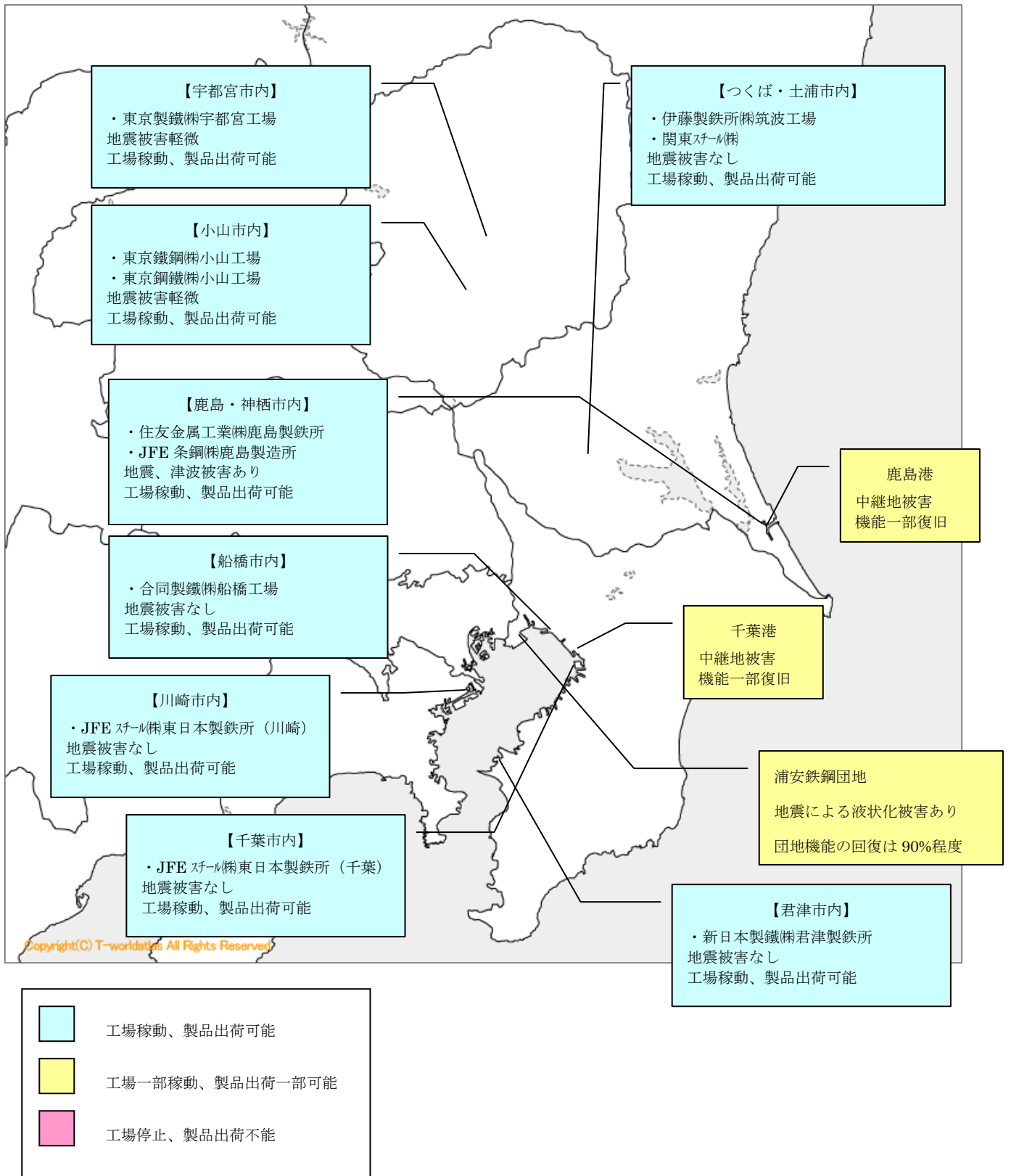
東北・北陸地区



	工場稼働、製品出荷可能
	工場一部稼働、製品出荷一部可能
	工場停止、製品出荷不能

(財) 経済調査会作成 (2011.06.02 現在)

関東地区



(財) 経済調査会作成 (2011.06.02 現在)

京浜地区 石油製品製油所 出荷状況について

2011/6/2現在

製油所/会社名	所在地	製品出荷状況		工場の損傷の有無	備 考
		海上出荷	陸上出荷		
JX日鉱日石エネルギー	根岸	○	○	特になし	
	鹿島	×	○	有(海上出荷設備の損傷)	6/4 生産再開、6/7 海上出荷一部再開の見通し
コスモ石油	千葉	△	○	有(隣接するLPGタンクの損傷)	再開日 未定(3/28海上出荷一部再開)
東燃ゼネラル	エクソンモービル	川崎	○	○	特になし
極東石油		千葉	○	○	特になし
東亜石油	昭和シェル	川崎	○	○	特になし
出光興産	千葉	○	○	特になし	
富士石油	袖ヶ浦	○	○	特になし	

【製油所全体の概況】

鹿島製油所(JX日鉱日石エネルギー)は6月4日から通常の6割程度で生産を再開する見通し。
 これにより東日本大震災の影響で稼働を停止している製油所は、仙台(JX日鉱日石エネルギー)、千葉(コスモ石油)の二カ所だけになり、
 石油供給体制は、震災前の状態にもどりつつある。

【当会の市場価格調査の結果】

最新の価格情報(6月1日発行 デジタル物価版石油製品編6月上旬号)では、東北地区(陸上渡し、海上渡し)を含む全地区の市場価格を掲載しております。

月刊「積算資料」掲載品(一般資材) 東日本大震災におけるメーカー等の被害状況および供給体制確認結果一覧

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	メーカー及び協会	確認日	被害状況について	被災地域への供給体制	被災地域以外への供給体制	備考(価格動向・買占め状況等)
共通資材	型枠材	210 ～ 211	コンクリート 型枠用合板	販売店	6月1日	荷揚げ港、港頭倉庫 の被害は、一部を残し 復旧している。	荷揚げ港の復旧とともに、輸入 品の入荷増により、供給体制は改 善の方向。	輸入品の入荷増により、ほぼ平常 通りに戻りつつある。	6月以降も輸入品の入荷増が見込まれて いる。産地価格の上昇は一服してきたもの の、市況は依然、強含みの状況。なお、実 需の不透明さから、市中では荷余りを懸念 する声が聞かれ始めている。
建築資材	内外装材	572	針葉樹 構造用合板	販売店	6月1日	宮古、石巻、大船渡 など、製造工場が被 災。現在復旧作業中だ が、製造再開は未定。	供給面では、メーカー側で仮設 住宅向けを最優先としている。一 般ルートでの供給も回復しつつあ るが、損壊住宅の修繕等で十分 な量の調達はまだ難しい。	大手ハウスメーカー・ビルダー・プレ カットメーカー等の直需向けへの供給 は、平常通りに戻りつつある。しかし、 一般物件では、まとまった量の確保 が難しい状況が続いている。	被災地以外の有力工場のフル稼働によ り、需給のタイト感は改善の方向。しかし、 厚物や長尺品を中心として、一部アイテム の品薄感は解消されていない。市況はジリ 高の状況が続いている。
共通資材	木材	226 ～ 229	仮設・ 土木用 木材	販売店	6月1日	特になし。	仮設住宅向け需要に伴い、杭丸 太を中心としてやや需給ひっ迫感 が見られる。	被災地向けへの優先供給が見られ るが、全般的に品薄感は解消されて いる。しかしながら、仮設住宅工事が 本格化に至っていないため、一部の 地域では在庫を抱えている状況もう かがえる。	震災後に価格上昇したアイテム(さん木、 矢板、杭丸太など)は、高止まり横ばい。
共通資材	木材	230 ～ 237	一般 建築用 木材	販売店	6月1日		平常通り。		震災後に価格上昇した板材は、高止まり 横ばい。 家屋補修のため大工の不足感が 一部に見られる。

月刊「積算資料」掲載品(一般資材) 東日本大震災におけるメーカー等の被害状況および供給体制確認結果一覧

分類①	分類②	積算資料掲載ページ	品名	メーカー及び協会	確認日	被害状況について	供給体制について	備考
土木資材	軽仮設資材	254(販売) 278(リース)	仮設足場	全国仮設安全事業組合・軽仮設リース業協会	6月2日	被災地の一部事業所で材料流出や工場設備に被害があったが、復旧している	現時点では東日本大震災復興向けの引き合いは少なく、保有量に問題はない。 被災地以外の供給は平常通り。	
土木資材	軽仮設資材	262(販売) 284(リース)	仮設ハウス	プレハブ建築協会、メーカー各社	6月2日	被災地の一部工場で設備に被害があったが、復旧している	被災地向けは、(社)プレハブ建築協会を中心に加盟メーカーおよび協力メーカーが全国の生産ラインを使いフル生産を続けている。新規販売品は、被災地向け必要戸数の減少により、メーカーの原材料調達不安は解消され、一部の部材ではキャンセルも発生している模様。完成品としては被災地向けの出荷が終わる7~8月までは全国的に品薄な状況が続く見通し。現場事務所用のリース品は被災地以外では在庫が見られるが、被災地では品薄となっている。	
土木資材	軽仮設資材	260 264	ブルーシート、土のう	メーカー、販売店各社	6月2日	なし	ブルーシートは、国内工場の増産と、輸入品の入荷によりほぼ平常の供給状況に回復している。 土のうは、被災地では梅雨入りを控え、河川の応急復旧工事が進んでおり、依然として、需給はタイトな状況が続いている。	